

高校野球青森大会組み合わせ

甲子園懸け45チーム激突

第108回全国高校野球選手権青森大会(7月7〜22日)の組み合わせ抽選会が24日、青森市の青森県総合社会教育センターで行われ、出場45チームの対戦相手が決定した。セ・ンパツ8強の八学光星は2回戦から登場し、「青森」東青連合の勝ち初戦を迎える。

(小嶋嘉文)

抽選会では、春季県大4シードのチームをA〜D各ブロックの四隅に振り分けた後、第5シードに残る37チームがくじを引いて4強入りした第1〜D各ブロックの四隅に振り分けた。その後、いた。

組み合わせを見ると、Aブロックは春季県大会を制した青森山田が有力。三沢商、八戸西、大湊の公立勢が奮闘を狙う。

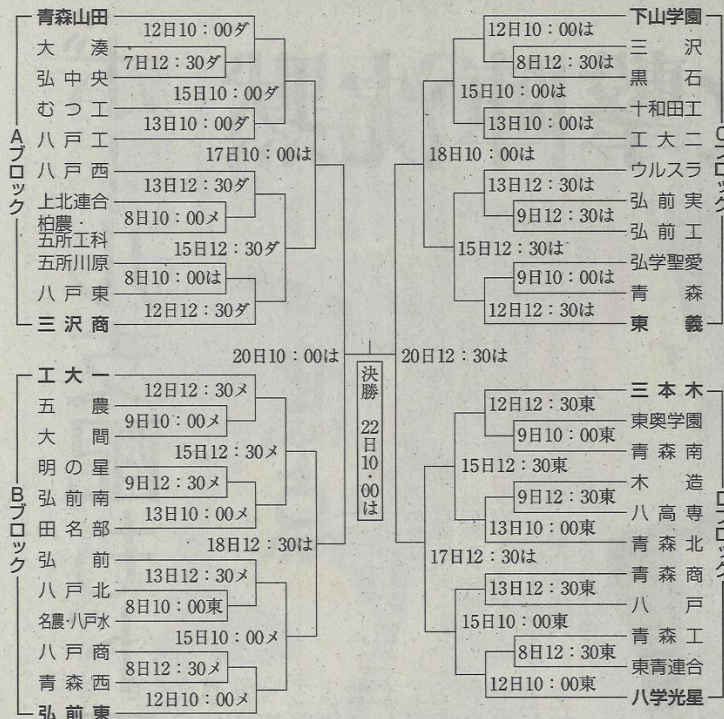
Bブロックは、16年ぶ

りVを見据える工大と学光星が頭一つ抜きんでて挑む。9年ぶりのシードを獲得した三本木、八戸がどこまで迫れるか。大会初日の7日は、青森市タイシンベールスポーツスタジアムで午前10時から開会式を実施。選



第108回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ

(参加校=45チーム、太字はシード)



※上北連合=六ヶ所、七戸、野辺地、八学野西、三農恵拓
東青連合=青中央、青森東、松風塾

会場

は=はるか夢球場(弘前市営) ダ=ダイシンボールスタジアム(青森市営)
東=八戸市東運動公園野球場 メ=メイプルスタジアム(六戸町)

組み合わせ抽選会で意気込みを語る(右から)八学光星の北口晃大、工大一の小島琉生、三本木の野崎翔斗、三沢商の月館翔太郎の各主将=青森県総合社会教育センター

県南シード校主将、決意新た 光星・北口「油断せず」

9年ぶりにシード権を獲得した三本木の野崎翔斗は「注目されると思うが、先を見ずに目の前の相手に集中したい。自分たちの野球を貫き、4強入りを狙う」と気合十分。三沢商は、昨年初戦で敗れた八戸東と2回戦で再戦する可能性も。月館翔太郎は「機動力を生かした攻撃でリベンジしたい。打倒私立を目標に戦う」と決意を新たにした。

シード校によるブロック決めの抽選で、昨年に続き残りくじを引いた工大一の小島琉生は「いいところを引けた。春に敗れた青森山田に勝って、決勝で八学光星と当たりたい」と16年ぶりの優勝を見据えた。

〇:春季県大会で8強入りした県南地方4校の主将が、大会への意気込みを語った。八学光星の北口晃大は「チーム一丸で、初戦から油断せずに臨む」ときっぱり。勝ち進めば昨夏決勝で敗れた弘学聖愛(フーシード)と準決勝で当たる可能性があり、「最後までマウンドに立ち続けられるよう準備をした」とリベンジを見据える。

〇:春季県大会で8強入りした県南地方4校の主将が、大会への意気込みを語った。八学光星の北口晃大は「チーム一丸で、初戦から油断せずに臨む」ときっぱり。勝ち進めば昨夏決勝で敗れた弘学聖愛(フーシード)と準決勝で当たる可能性があり、「最後までマウンドに立ち続けられるよう準備をした」とリベンジを見据える。